

甲子様

匠 瑤 探 訪

144

籠部田区(中央地区)に「甲子様きのえねさま」と呼ばれる神社があります。それぞれの区にまつられる神社からその地域の歴史を知ることできます。

現在、『千葉県宗教法人名簿』記載の市内の神社は66社。区(江戸時代の旧村)が58あるのでおよそ1区に1社の割合で登録されていることになります。しかし、私たちの地域には複数の神社がある区もあり、甲子神社のように名簿に未登録のものも少なくありません。市道から参道を進み石



甲子神社社殿

の鳥居をくぐると、正面に星宮神社がまつられています。本殿手前には修復記念碑には、1192(建久3)年この山裾に居を構えた千葉氏の一族がまつった、と由緒が書かれています。1417(応永24)年に「籠部田」と見られる記録もあり、由緒を裏付けています。

本殿右側にある「甲子神社」と彫られた石柱から80余段の石段を上ると、本殿、拜殿などがあります。正面に「甲子大黒天きのえねいこくてん」の額が掲げられています。

「甲子」とは干支の一つで、年に6回ある甲子の日が縁日で、「大黒天」は福德の神として信仰されています。本殿右上の林の中にある2基の石いせき祠ほこら(石宮)が、のちに甲子神社につながったと考えられます。ど

ちらにも神の名は刻まれていませんが、1760(宝暦10)年のものには磯部、江波戸、高梨、布施姓の6人が、1859(安政6)年には大沢とあり、籠部田村の人と見られる名が知られます。この頃には旧国道沿いの家並みが「一里(約3.9キロ)ばかりの町並みなり」と形成されていて、農家中心の村の中にも商いをする人が出て来て商売繁盛などを願いまつたのでしよう。

江戸時代の籠部田村には星宮、甲子の他、稲荷神社、水神社などがまつられていました。1879(明治12)年に千葉県庁に提出された『神社明細帳』では、甲子神社は星宮神社の境内社とあります。

八社参り・長路コースに籠部田・星宮神社も含まれます。甲子神社へも足を運んではいかがでしょう。

(市文化財審議会委員・

依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080